エコアクション21

エコアクション21
認証番号0010687

環　境　経　営　レ　ポ　ー　ト

（令和6年度版）

運用期間　：　令和5年10月～令和6年9月

株式会社Quality　Technos

令和6年　12月　25日　発行

〒802-0978　福岡県北九州市小倉南区蒲生1-4-48

TEL(093)342-9753　FAX(093)342-9711

目　次

表 紙

目 次

1. 環境経営方針 1

2. 組織の概要＆対象範囲 2

3. 実施体制表 3

4. 環境経営目標 4

5. 環境経営計画 5

6.環境経営目標と実績 6

7-1. 環境経営計画の取組結果とその評価 7

7-2. 令和7年度及び中長期　環境経営目標 8

7-3. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果及び違反・訴訟等の有無 9
代表者による全体評価と見直し・指示

1. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

株式会社Quality　Technosは、電気工事及び電気通信工事の施工を通じて
「快適な暮らしと環境」「地球環境への調和」を掲げ、全社員が事業活動のあらゆる局面で
地球環境に影響を与えていることを認識し、配慮して行動します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減及び環境経営の継続的改善を推進します。
そのために以下の事項を重点的に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減に取り組みます。
3. 水使用量の削減に取り組みます。
4. 環境に配慮した工事を推進します。
5. グリーン化及びグリーン購入に努めます。
6. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
7. 環境経営方針は研修や教育を行い、全従業員に周知するとともに、広く一般へ公開します。

平成30年　10月1日改定
平成28年　　7月1日制定

株式会社Quality　Technos
代表取締役　佐藤　賢一

2. 組織の概要＆対象範囲

◆組織の概要

（1） 名称及び代表者氏名

株式会社Quality Technos（クオリティ テクノス）
（平成28年6月17日付 社名変更 旧社名 株式会社 九州テクニカルサービス ）

代表取締役 佐藤 賢一

（2） 所在地

本 社　　〒802-0978　福岡県北九州市小倉南区蒲生1-4-48
関東営業所　　〒164-0012　東京都中野区本町2丁目40-6

（3） 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者及び連絡先　　本社 管理部　小野 広美
TEL 093－342－9753　Email: h.kanribu@qtec.ne.jp

（4） 事業内容

電気設備工事・電気通信工事

① モバイルエンジニアリング …… 屋内閉空間対策・無線工事・基地局設置工事
② システムエンジニアリング …… 防災行政無線、ラジオ再放送設備等の無線ネットワーク
③ 電気技術部 …… 防犯カメラ取付工事・LED照明・プラント電気設備工事

（5） 事業規模（全体）

会社設立　平成7年9月28日
資本金　3,100万円

活動規模	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
売上高	百万円	726	998	996	1,343
工事件数	件	13	17	16	257
従業員	人	26	26	27	28
延べ床面積（本社）	㎡	212	212	212	284

（6） 事業年度

10月1日～翌年9月30日
（今回の環境経営レポートの対象期間は、令和5年10月～令和6年9月）

（7） 技術者 【国家資格 等】

（ ）は令和6年度の取得者

①第一級陸上特殊無線技士　5名
②第二級陸上特殊無線技士　2名
③第一種電気工事士　3名
④第二種電気工事士　8名
⑤第一級電気施工管理技士　1名**（3名）**
⑥第二級電気施工管理技士　4名
⑦第二級土木施工管理技士　1名
⑧二級電気通信工事施工管理技士補 **（2名）**
⑨第一種あと施工アンカー施工士　1名
⑩第二種あと施工アンカー施工士　5名
⑪監理技術者　**（3名）**
⑫建設業経理士1級　1名

【教育・講習等】

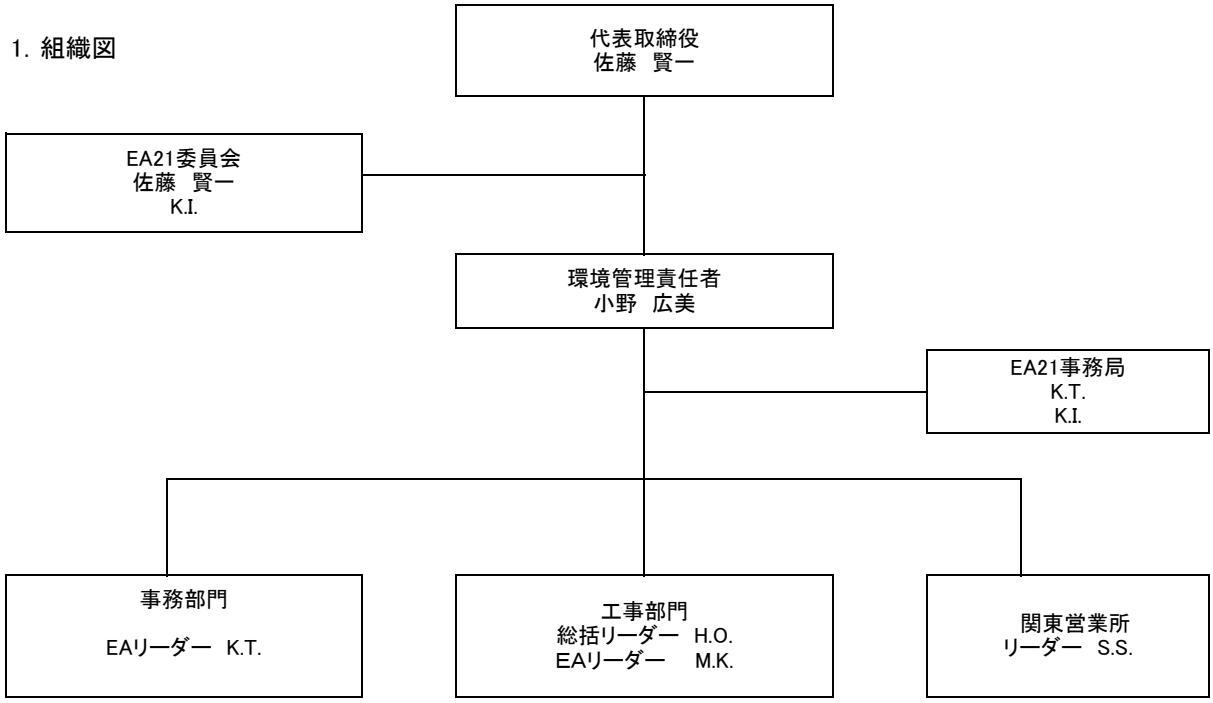
高所作業車特別教育　3名
小型移動式クレーン運転　2名
玉掛技能　4名
酸欠危険主任者　1名
足場の組立講習　**（1名）**
足場点検実務者　**（7名）**
テールゲートリフター操作教育　**（3名）**
建築物石綿含有建材調査者教育　**（2名）**

◆対象範囲

登録範囲は全事業所を対象とし、登録内容は事業内容とする。

3. 実施体制表

1. 組織図



2. 役割分担表

氏名	所属（役職）	役割・責任・権限・使命
佐藤　賢一	代表者 （代表取締役）	・全体の総括、環境方針の設定、環境への取り組みを実施するための資源の準備 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
小野　広美	環境管理責任者	・全体の把握/環境営業システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する ・環境経営レポートの作成及び環境活動の実績集計等
	EA21委員会	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
K.T.	事務部門	EA21委員会及び環境管理者に必要な情報を提供するとともに、委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する。
H.O	工事部門	工事部門におけるEA21の遂行を総括する。
EAリーダー	各部門	・各部門におけるEA21の遂行管理を行う。 ・各部門における環境教育を担当する。
全従業員		・環境経営方針への理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的に環境活動へ参加する。

4. 環境経営目標

令和6年度及び中長期 環境経営目標

（事業年度は10月1日～翌年9月30日迄）

NO.	目標項目			単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
					基準値	年次目標		
1	二酸化炭素排出量の削減			$kg-CO_2$	43,208	42,646	42,603	42,560
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
				$kg-CO_2$/百万円	43.4	42.84	42.79	42.75
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
	電力使用量		本社	kWh	29,197	28,817	28,788	28,759
			関東営業所		206	203.3	203.1	202.9
			合計		29,403	29,020	28,991	28,962
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
	燃料	ガソリン	本社	ℓ/年	7,792	7,691	7,683	7,675
			関東営業所		2,986	2,947	2,944	2,941
			合計		10,778	10,638	10,627	10,616
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
		軽油	本社のみ	ℓ/年	1,763	1,740	1,738	1,737
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
		燃料計	本社	ℓ/年	9,555	9,431	9,421	9,412
			関東営業所		2,986	2,947	2,944	2,941
			合計		12,541	12,378	12,365	12,353
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
	車両燃費の向上			㎞/ℓ	11.1	11.2	11.3	11.3
						1.3% 増	1.4% 増	1.5% 増
	LPGと配送ガスの削減			Kg	32.66	32.24	32.20	32.17
						1.3% 減	1.4% 減	1.5% 減
	車両走行距離			㎞	138,576	－	－	－
2	産業廃棄物の削減			%（再資源化率）	－	100	100	100
	一般廃棄物の削減			－	－	－	－	－
3	使用水量の削減					常に節水に努める		
4	エコ活動の推進			グリーン購入の促進		事務用品・消耗品はグリーン商品を優先して購入する		
5	環境に配慮した施工及びサービスの提供					工期短縮の推進		
						施工時は騒音・振動などを防止する		
						作業終了後の点検と清掃を徹底する		
6	技能向上			技能講習・免許の取得		技能講習への参加や免許取得にトライする		
7	環境に有益な活動の推進（有価物の売却）			kg/年	3,790	3,800	3,850	3,880

※電力のCO_2発生量については、平成29年度実績の調整後排出係数、事業者全体数値にて算出しています。
九州電力⇒0.463($kg-CO_2$/kWh)、東京電力⇒0462($kg-CO_2$/kWh)

※化学物質は使用しておりません。

※水使用量の削減は、現場の工事内容により変動するため、事務所のみの目標とした。

※基準値についてはスライド方式により前年度の実績をベースとしています。

※グリーン購入は『アスクル・たのめーる』からの購入品を対象とする。

5. 令和6年度 環境経営計画

当社では、環境経営方針に基づいて二酸化炭素・産業廃棄物を削減し、環境経営目標を達成するために全社員が一丸となって取り組んでいます。

No.	目標	取組内容	具体策	実施場所	スケジュール
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	エアコンのフィルター掃除を実施する	事務所	10月・4月
			エアコンは『自動運転』モードに設定する	事務所	通年
			昼休み及び室内不在時の消灯	事務所	通年
			パソコンは電源のオプション設定で省電力化する	事務所	通年
			クールビズ（空調服）・ウオームビズ（ネックウォーマー）の推進	事務所 現場	夏・冬
		ガソリン・軽油使用量の削減（車両燃費の向上）	エコドライブ（ふんわりスタート及び一定速度を保つ）を心がける	運転時	通年
			高速道路を利用し、渋滞を回避する	運転時	通年
			運転日誌を毎月回収し燃費のチェックをする	事務所	1回／月
			不要な荷物は積まない	作業車	通年
		LPGの削減	給湯器を効率的に使用する	事務所	通年
2	廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	廃棄物と有価物を分別管理しリサイクル化を推進する	現場	通年
			適切な処理の為、産廃マニフェストの管理を徹底する	事務所 現場	通年
		一般廃棄物の削減	両面印刷・両面コピーを徹底する	事務所	通年
			トナーカートリッジは無料回収に出す	事務所	通年
			ダンボール・カタログ・古紙（新聞等）は無料回収化を徹底する	事務所	通年
3	使用水量の削減	節水に努める	洗車時は時間を短縮する	事務所	通年
			水漏れ点検の実施	事務所	通年
4	エコ活動の推進	グリーン購入の促進	事務用品、消耗品はグリーン商品を優先して購入する	事務所	通年
			エコ商品（詰替え可能品など）を注文する	事務所	通年
5	環境に配慮した施工及びサービスの提供		工期短縮の推進（ANDPADによる施工管理アプリの活用）	現場	工事期間中
			施工時は騒音・振動などに配慮する（低騒音の発電機を使用）		
			作業終了後の点検と清掃を徹底する		
6	技能向上	技能講習・免許の取得	技能講習受講の呼びかけと受験手配の実施	事務所	通年
			受講履歴・受験合否実績のデータ管理	事務所	通年
7	環境に有益な活動の推進		有価物を売却する（鉄くず・被覆線・照明器具など）	現場	通年

6. 環境経営目標と実績

NO.	目標項目			単位	令和5年度	令和6年度		
					基準値	目標	実績	目標比 達成状況
1	二酸化炭素排出量の削減			kg-CO2	43,208	42,646	43,988	96.9%
						1.3% 減	1.8%増	△
				kg-CO_2/百万円	43.4	42.84	32.75	130.8%
						1.3% 減	24.5%減	○
	電力使用量		本社	kWh（削減率）	29,197	28,817	28,709	100.4%
			関東営業所		206	203.3	183	111.1%
			合計		29,403	29,020	28,892	100.4%
						1.3% 減	1.7%減	○
	燃料	ガソリン	本社	ℓ/年	7,792	7,691	7,943	96.8%
			関東営業所		2,986	2,947	3,619	81.4%
			合計		10,778	10,638	11,562	92.0%
						1.3% 減	7.3%増	△
		軽油	本社のみ	ℓ/年	1,763	1,740	1,457	119.4%
						1.3% 減	17.4%減	○
		燃料計	本社	ℓ/年	9,555	9,431	9,400	100.3%
			関東営業所		2,986	2,947	3,619	81.5%
			合計		12,541	12,378	13,019	95.1%
						1.3% 減	3.8%増	△
	車両燃費の向上			km/ℓ	11.1	11.2	10.8	96.4%
						1.3% 増	2.7%減	△
	LPGと配送ガスの削減			Kg	32.66	32.24	9.32	345.9%
						1.3% 減	71.5%減	○
	車両走行距離			km	138,576	－	140,640	
2	産業廃棄物の削減			%（再資源化率）	－	100	100	100%
						－	達成	○
	一般廃棄物の削減			－	－	－	－	－
3	使用水量の削減					常に節水に努める		
4	エコ活動の推進			グリーン購入の促進		事務用品・消耗品はグリーン商品を優先して購入する		
5	環境に配慮した施工及びサービスの提供					工期短縮の推進 騒音・振動などを防止する 作業終了後の点検と清掃を徹底する		
6	技能向上			技能講習・免許の取得		技能講習への参加や免許取得にトライする		
7	環境に有益な活動の推進（有価物の売却）			kg/年	3,790	3,800	4,303	113%
						0.26%増	13.24%増	○

【達成状況】 ○＝達成（100%以上） △＝努力した（100%未満～90%以上） ×=未達（90%未満）
未達時は原因の究明を行い、見直し

※電力のCO_2発生量については、平成29年度実績の調整後排出係数、事業者全体数値にて算出しています。
九州電力⇒0.463(kg-CO_2/kWh)、東京電力⇒0462(kg-CO_2/kWh)

※化学物質は使用しておりません。

※LPGについては令和6年5月で契約終了（事務所移転に伴いオール電化に移行）

※水使用量の削減は、現場の工事内容により変動するため、事務所のみの目標とした。

※基準値についてはスライド方式により前年度の実績をベースとしています。

※グリーン購入は『アスクル・たのめーる』からの購入品を対象とする。

7－1. 令和6年度 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内

No.	目標	取組内容	SDGs	具体策	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		エアコンのフィルター掃除を実施する	○
				エアコンは『自動運転』モードに設定する	○
				昼休み及び室内不在時の消灯	○
				パソコンは電源のオプション設定で省電力化する	○
				クールビズ（空調服）・ウオームビズ（ネックウォーマー）の推進	○
		ガソリン・軽油使用量の削減（車両燃費の向上）		エコドライブ（ふんわりスタート及び一定速度を保つ）を心がける	△
				高速道路を利用し、渋滞を回避する	○
				運転日誌を毎月回収し燃費のチェックをする	○
				不要な荷物は積まない	△
		LPGの削減		給湯器を効率的に使用する	○
2	廃棄物の削減	産業廃棄物の削減		廃棄物と有価物を分別管理しリサイクル化を推進する	○
				適切な処理の為、産廃マニフェストの管理を徹底する	○
		一般廃棄物の削減		両面印刷・両面コピーを徹底する	○
				トナーカートリッジは無料回収に出す	○
				ダンボール・カタログ・古紙（新聞等）は無料回収化を徹底する	○
3	使用水量の削減	節水に努める		洗車時は時間を短縮する	○
				水漏れ点検の実施	○
4	エコ活動の推進	グリーン購入の促進		事務用品、消耗品はグリーン商品を優先して購入する	△
				エコ商品（詰替え可能品など）を注文する	○
5	環境に配慮した施工及びサービスの提供			工期短縮の推進（ANDPADによる施工管理アプリの活用）	○
				施工時は騒音・振動などに配慮する（低騒音の発電機を使用）	○
				作業終了後の点検と清掃を徹底する	○
6	技能向上	技能講習・免許の取得		技能講習受講の呼びかけと受験手配の実施	○
				受講履歴・受験合否実績のデータ管理	○
7	環境に有益な活動の推進			有価物を売却する（鉄くず・被覆線・照明器具など）	○

【評価】 ○＝評価できる △＝まずまず評価できる

7-1. 取組結果とその評価

（1）有価物の売却（九州メタル産業→被覆線等 133,710円／千代田商会→鉄・鉄雑品等 111,986円）

（2）ネットバンキングによる効果（北九州銀行）

①振込依頼書の記入ミスの削減（事務処理の効率化）

②銀行への移動時間の削減（往復30分×2回／月⇒△12時間／年）

（3）OA機器のセキュリティー更新による効果額（1,000円／月⇒12,000円／年）

7-2　令和7年度及び中長期 環境経営目標

作成日:令和6年10月14日

（事業年度は10月1日～翌年9月30日迄）

承認者	作成者
佐藤　賢一	田中

0.239

NO.	目標項目			単位	令和6年度 基準値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
						年次目標		
1	二酸化炭素排出量の削減			$kg-CO_2$	43,988	54,500	53,500	53,000
						23.9%増	21.6%増	20.5%増
				$kg-CO_2$/百万円	32.75	36.30	35.66	35.33
						10.84%増	8.89%増	7.88%増
	電力使用量		本社	kWh（削減率）	28,709	28,000	27,900	27,800
			関東営業所		183	12,000	11,900	11,800
			合計		28,892	40,000	39,800	39,600
						38.45%増	37.75%増	37.06%増
	燃料	ガソリン	本社	ℓ/年	7,943	11,400	11,200	11,000
			関東営業所		3,619	3,000	2,800	2,600
			合計		11,562	14,400	14,000	13,600
						24.55%増	21.09%増	17.63%増
		軽油	本社のみ	ℓ/年	1,457	1,000	1,000	1,000
						31.37%減	31.37%減	31.37%減
		燃料計	本社	ℓ/年	9,400	12,400	12,200	12,000
			関東営業所		3,619	3,000	2,800	2,600
			合計		13,019	15,400	15,000	14,600
						18.29%増	15.22%増	12.14%増
	車両燃費の向上			km/ℓ	10.8	11.2	11.3	11.3
						3.70%増	4.63%増	4.63%増
	LNG削減		関東のみ	Kg	－	1,000	1,000	1,000
						－	－	－
	車両走行距離			km	140,640	－	－	－
2	産業廃棄物の削減			%（再資源化率）	－	100	100	100
	一般廃棄物の削減			－	－	－	－	－
3	使用水量の削減					常に節水に努める		
4	エコ活動の推進			グリーン購入の促進		事務用品・消耗品はグリーン商品を優先して購入する		
5	環境に配慮した施工及びサービスの提供					工期短縮の推進 騒音・振動などを防止する 作業終了後の点検と清掃を徹底する		
6	技能向上			技能講習・免許の取得		技能講習への参加や免許取得にトライする		
7	環境に有益な活動の推進（有価物の売却）			kg/年	3,790	3,800	3,850	3,880

※電力のCO_2発生量については、平成29年度実績の調整後排出係数、事業者全体数値にて算出しています。
　九州電力⇒0.463($kg-CO_2$/kWh)、東京電力⇒0462($kg-CO_2$/kWh)

※化学物質は使用しておりません。

※水使用量の削減は、現場の工事内容により変動するため、事務所のみの目標とした。

※基準値についてはスライド方式により前年度の実績をベースとしています。

※グリーン購入は『たのめーる』からの購入品を対象とする。

目標値の変更について
　令和7年度より以下の環境の変化に基づき、目標値を刷新した
　・車両の台数の見直しを行い、対象台数を大幅に増やした関係上、目標値が大幅に上がった
　・本社、東京営業所両方の移転に伴い、事務所の水道光熱費の上昇が見込まれるので踏まえた目標値に設定した

7-3. 次年度以降の取組状況

(1)二酸化炭素の削減

継続して電力と車両燃料の使用を削減する取り組みを徹底する。

(2)廃棄物の削減

産業廃棄物と一般廃棄物を分別し削減に努める。

(3)使用水量の削減

継続して節水意識を保ち削減に努める。

(4)エコ活動の推進

継続してグリーン商品を優先して購入する。

(5)環境に配慮した施工及びサービスの提供

継続して取り組みを実施する。

(6)技能向上

スキルアップの為、各種講習会への参加や免許取得などにチャレンジする。

(7)環境に有益な活動の推進

被覆線・鉄くずなどの有価物については売却を行う。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果及び違反・訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。

〇廃棄物処理法　〇排出ガス対策型規定　〇フロン排出抑制法

それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利益関係者からの控訴等もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21への取り組みを通して、全従業員がエコに対する高い意識が定着してきました。

令和6年6月より本社の新社屋への移転に伴い、事務所面積が増えたことで電気や水道の使用量が多くなりました。

ガソリンの使用量については、遠方の現場が多く走行距離が増加した為、目標は達成出来ませんでしたが

エコドライブの継続、給油及び走行距離の記録データを管理するなど、今後も各自が省エネを意識して環境負荷の

軽減に取り組んで行きたいと思います。

株式会社　QualityTechnos
代表取締役　　佐藤　賢一